

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成27年10月29日 (2015.10.29)

【公開番号】特開2015-153318(P2015-153318A)

【公開日】平成27年8月24日 (2015.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-053

【出願番号】特願2014-28783(P2014-28783)

【国際特許分類】

G 0 8 G 1/16 (2006.01)

B 6 0 R 21/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 8 G 1/16 C

B 6 0 R 21/00 6 2 4 C

B 6 0 R 21/00 6 2 2 F

B 6 0 R 21/00 6 2 2 L

B 6 0 R 21/00 6 2 4 B

B 6 0 R 21/00 6 2 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月4日 (2015.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

上記の目的を達成するために、本発明の作業機械の障害物検知装置は、車体に接近する障害物を検知する作業機械の障害物検知装置において、前記車体の周囲の障害物を検知して前記車体の周囲を監視する周囲監視部と、この周囲監視部の検知範囲よりも前記車体から離れた位置の障害物を検知して前記車体から離れた遠方を監視する遠方監視部と、前記車体の速度に応じて、前記周囲監視部による監視と前記遠方監視部による監視を切替える監視切替部とを備えたことを特徴としている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車体に接近する障害物を検知する作業機械の障害物検知装置において、  
前記車体の周囲の障害物を検知して前記車体の周囲を監視する周囲監視部と、  
この周囲監視部の検知範囲よりも前記車体から離れた位置の障害物を検知して前記車体から離れた遠方を監視する遠方監視部と、

前記車体の速度に応じて、前記周囲監視部による監視と前記遠方監視部による監視を切替える監視切替部とを備えたことを特徴とする作業機械の障害物検知装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の作業機械の障害物検知装置において、

前記監視切替部は、

前記車体が加速して前記車体の速度が所定の速度に達したとき、前記遠方監視部による

監視に切替え、前記車体が減速して前記車体の速度が前記所定の速度よりも低速になったとき、前記周囲監視部による監視に切替えることを特徴とする作業機械の障害物検知装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の作業機械の障害物検知装置において、

前記周囲監視部は、撮影範囲が異なるように前記車体に設けられ、前記車体の周囲を撮影する複数のカメラを有し、

前記監視切替部は、前記車体が加速して前記車体の速度が前記所定の速度に達し、かつ前記車体の進行方向が前記車体の前後左右の所定の方向であるとき、前記遠方監視部による監視に切替えると共に、前記複数のカメラのうち一部のカメラを作動させて前記周囲監視部による一部の監視を維持することを特徴とする作業機械の障害物検知装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の作業機械の障害物検知装置において、

前記監視切替部は、

前記車体が加速して前記車体の速度が前記所定の速度に達し、かつ前記車体の進行方向が前進方向であるとき、前記遠方監視部による監視に切替えると共に、前記複数のカメラのうち前記車体の後方を撮影するカメラを作動させて前記周囲監視部による一部の監視を維持することを特徴とする作業機械の障害物検知装置。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の作業機械の障害物検知装置において、

前記監視切替部は、

前記車体が加速して前記車体の速度が所定の速度に達し、かつ前記車体の進行方向が左方向又は右方向であるとき、前記遠方監視部による監視に切替えると共に、前記複数のカメラのうち前記車体の左方又は右方を撮影するカメラを作動させて前記周囲監視部による一部の監視を維持することを特徴とする作業機械の障害物検知装置。